



H18. 6.30 1198
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 県密漁防止対策協議会開催される

本会では6月29日、密漁防止対策協議会委員会、幹事会を開催しました。

会議は、西川会長の挨拶に続いて、平成17年度における密漁の状況報告が、下田海上保安部警備救難課吉野専門官、御前崎海上保安署和田次長、県警察本部生活環境課塚本課長補佐、県水産資源室町田専門監よりそれぞれ行われました。

このうち吉野専門官から、同管内における平成17年度中の密漁関連は、90件89名を検挙した報告がありました。主な違反内容として漁業法違反、県漁業調整規則違反などがあり、漁業法の違反については、アワビ、サザエ、トコブシの漁業権の侵害が18件、漁業調整規則違反では、禁止期間中のイセエビ等の採捕によるものが48件ありました。

検挙者に理由を問うと、「違反は分かっている。少しくらいなら許してくれると思った。」など自己中心的な動機が多く、伊豆半島では磯根資源を狙う事犯が後を絶たない状況の報告がありました。

続いて、平成17年度事業報告及び、平成18年度事業計画について審議し、いずれも原案どおり可決承認されました。

引き続き行われた幹事会では、今年度実施する事業(密漁防止に係る啓発資材の作成、立看板の設置、講習会の開催など)内容の確認が行われました。

2. 漁協経理実務研修会が開催される

本会では6月27日、各漁協の総務、経理担当者17名が参加して、総務・経理向けの初級者を対象として、漁協決算税務の基礎知識を学ぶほか、消費税に関する事務手続きを習得し、将来の経理責任者の育成に資することを目的として、平成18年度漁協経理実務研修会を開催しました。

研修会では、本会組合課の職員が講師となり、漁協の簿記と消費税(漁協簿記及び消費税の基礎的な事項を学び、取引の仕訳や消費税の課税判断などを演習する) 漁協の決算(決算における棚卸修正等の基礎的な事項を学び、決算事務手続き等を演習する)

漁協の税務(漁協の簿記決算で学んだ事項をもとに、法人税の基礎を学び演習する)について、それぞれ講義が行われました。

3. 全国内水面漁連標語コンクール入賞作品発表

全国内水面漁業協同組合連合会ではこのほど、41都道府県の小中学生を対象とした、河川とその環境保全に係る第5回全国標語コンクールの入賞作品を発表しました。

それによると、水産庁長官賞には山梨県韮崎市立韮崎北西小学校4年の菊池凌平君による「川の水 よごせば海まで つづいてる」が選ばれたほか、全国内水面漁連会長賞3点、佳作7点、入選10点が選ばれました。

本県からは、浜松市立和田小4年の鈴木由季乃さんの「自然って 作るもこわすも 人次第」が全国内水面漁連会長賞に、また西伊豆町立仁科小学校4年の岡部碧海君による「よ

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

ごしたら 私たちが ゆるさない」が入選しました。

4. 初心者向け船釣り教室参加者募集のお知らせ

- 県遊漁船業協会 -

県遊漁船業協会では、7月29日清水沖において、船釣りに対する関心を高め、新たな利用者の開拓を図るとともに、水産資源の保護培養と海の環境保全、更には海の利用に対する意識の高揚を図ることを目的として、一般の船釣り初心者を対象にアジの船釣り教室を開催しますので、多数の参加応募をお待ちしています。

開催日時：平成18年7月29日(土) 午前7:30から正午(予定) 予備日：平成18年8月5日(土) 集合場所：清水港興津埠頭(興津1号係留場) 釣り対象：清水沖でのアジ釣り(サビキ釣り) 参加費：無料 参加資格：船釣り初心者に限る(小学3年生以上、65歳未満の男女で、中学生以下は保護者同伴)

申込方法：郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業又は学校名を記入の上、往復はがきで申し込む(連名でも可能で、全ての参加者名を記載する) 申込締切：平成18年7月19日(水)必着 募集人員：先着100名(先着順で、後日代表者宛に通知する)

宛先・問合せ先：〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル3F
静岡県遊漁船業協会 TEL:054-272-7730

5. 組合学校販売事業コースの募集を開始

全国漁業協同組合学校では、水産物マーケティング専門家で中国市場に精通する、婁小波東京海洋大学教授をコーディネーターに迎え、中国輸出の戦略を学ぶ5日間の研修を開催します。

研修は、東京での講義と中国・大連での現地視察からなっており、講義受講のみの参加も可能です。

日時：平成18年9月4日(月)～8日(金) 内容：講義=9月4日(月)10:30～17:20 東京虎ノ門パストラル 中国水産物市場の最新動向と販売戦略(婁教授) 秋サケの中国輸出戦略と実践(宮村正夫JF北海道漁連副会長) 中国ビジネス展開に向けて(永持孝之進理研ビタミン株名誉会長) 小型サバの中国輸出戦略と実践(宮本敬史日本遠洋旋網漁協理事) 視察=9月5日(火)～8日(金) 大連海洋漁業集团公司訪問、水産加工場等の視察ほか 研修費：20万円(4泊5日)(講義受講のみは3万円) 申込締切：7月24日(月) 募集人数：先着20名/対象者：JF漁連、JFの販売担当役員、信用部門の販売事業管理・企画担当者など 問合せ先：全国漁業協同組合学校 TEL:04-7144-8125 Eメール：gyogaku@muse.ocn.ne.jp

6. 県TAC(漁獲可能量) 5月末漁獲実績を発表

県ではこのほど、TAC対象4魚種の5月末現在の漁獲実績を発表しました。

それによると、サバ類がTAC数量12,000トに対して2,570トで消化率21.3%となり、TAC数量が若干量の魚種では、マアジ1,285ト、マイワシ40ト、スルメイカ179トの漁獲量となりました。また、サンマは27.5トの漁獲量でした。

7. 会議・日程(7月4日(火)～7月17日(月))

- 既報分省略 -

7月10日(月) 県遊漁船業協会 = マダイ稚魚放流活動 (由比港漁協)

7月14日(金) 中部太平洋旋網漁業協会 = 理事会・通常総会 (伊豆の国市)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう